第9回南牧村学校づくり委員会 議事録

議事日程

平成28年12月26日(月曜日)午前10時30分開会

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 答申書の提出
- 4 村長あいさつ
- 5 閉会

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

会議出席委員

林 崇介 渡邊 壽美 薩田 聡 原 和則 高見澤 要 佐々木 撰
矢野 勝彦 武井 晃 渡邊 忠一郎 吉澤 安則 横森 誠 井出 真紀
(以上12名)

欠席8名 高見澤 一男 井出 嘉也 町田 喜範 井出 正吉
新海 勝則 菊池 武元 新海 秀幸 坪井 則男

事務局職員出席者

総務課長 津金 昇三 企画係長 井出 聡
教育長 井出 英夫 教育次長 井出 浩美 学校教育係長 井出 一生

傍聴人

井出 邦彦 高見澤 ふみ子 縣 和彦

開会 午前10時30分

◎開会の宣告

事務局井出次長 お待たせいたしました。委員会開会の時間になっておりますので、ただいまから第9回学校づくり委員会を始めさせていただきます。なお本日は、答申書の提出ということで、大村村長にお越しいただいております。本日の進行につきましては、事務局で務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。それでは開会のことばを渡邊副委員長お願いします。

渡邊壽美 副委員長 みなさん、こんにちは。何かとお忙しい中をご苦勞様です。それでは、ただいまより第9回南牧村学校づくり委員会を開会いたします。

◎議事

事務局井出次長 林委員長、ごあいさつをお願いいたします。

林崇介 委員長 皆さんおはようございます。私ども、5月の末から本日まで9回の委員会、皆様の熱心なご討議をいただいてここに至りました。実に半年の間に9回の委員会というのは、他の会合ではあまりない例だと思います。その熱心な意見、最初は、あるいは途中で齟齬がありましたけれど、最後は皆様一つになっていただいて、答申を作成する運びになりました。今日に至るまでの皆様のご尽力と、そして事務局のサポート、関係者の皆様にお礼を申し上げます。今日はどうぞよろしくお願い致します。

事務局井出次長 ありがとうございます。それでは次第の3番、答申書の提出ということでございます。林委員長と大村村長におかれましては、ご起立いただいて、林委員長から答申書の朗読をさせていただきます。中、向き合いでお願い致します。

林 委員長 このA3の内容を、少し長くなりますが全部読ませていただきます。
(答申書の朗読)

以上であります。どうも長い間ありがとうございました。

大村公之助 村長 どうもご苦勞様でした。

事務局井出次長 それでは、ただいま答申が終わりました。大村村長、ごあいさつをお願い致します。

大村 村長 はい。みなさん、おはようございます。日頃は、今日は武井校長先生来ていますけれど村の教育につきましては、教育委員をはじめ皆様にご努力いただき、今日があると常々感謝申し上げます。そんな中、私、昨年こういった立場になったわけですが、その後学校づくり委員会立ち上げにあたりましては、南牧村総合教育会議というのがございまして、ここ1回2回開催された中で、今の日本の少子化そして高齢化社会、その中で特に少子化が非常に問題になっております。うちの村も非常に少子化については、時代の波と共にかなり速いスピードで進んでいると言ってもいいくらい子どもの減少は著しいものがございます。こちらの答申の中にもございますけれども、今年生まれた子どももやっと二桁十数名ということで、これがこれから数年後になりますとどんどん減少するという厳しい実態に南牧村も追い込まれていってしまう。そんな中で、この学校の統合の問題については、今までもいろんな形で深い議論を教育委員会あるいは学校を取り巻く関係でおこなわれ、過去には統合については具体的な話も出た経過もございます。そんな中であって今回、学校づくり委員会というものを教育長あるいは次長さんに強く要望いたしまして、また教育委員会のご協力をいただきまして、委員会づくりが今年の5月に発足したわけでございます。今、林崇介委員長から答申の内容を伺いまして、大変ご苦勞があったなど、この事務局には本当に感謝をしなければいけないなどと思って

います。当初いろんな問題があったようでございましたけれども、会議は8回ほど、中には視察をしたということで、かなり熱心に取り組んでいただいて、また忙しい農作業の中、あるいは先生におかれては学校の授業終わった後など時間外などで会議を数回やっていただき、こういった皆さんのご努力によりまして、南牧村の学校づくりの基本的なものができたということで、本当にこれから身の引き締まる思いでございます。大変なご苦勞いただきまして、これだけの答申をいただきました上は、今後はこの学校づくりに向けて地域の皆様にご理解をいただくために再度教育委員会と打ち合わせをして、地域の皆さんに答申の内容を説明して行って、なお一層の理解をいただくということを務めてやっていかなきゃいけないなと思っています。その後は建設委員会の前段であります諮問委員会というようなものも早速立ち上げて、この答申と一緒に村民の皆様のご意見を伺って今後進めて行きたいなと思っています。やはりこの学校づくり委員会の皆様のご努力によって作り上げた答申は、これからの南牧の学校を作るときにおいては、本当に基本的な基本になるかと思っています。やはりこれを中心にして、今後村民の皆様になお一層のご努力又はご理解をいただいて進めて行きたいと思っています。今日で学校づくり委員会は解散ということでございますけれども、本当にこの5か月間、内容の濃い会議をしていただきまして、いろんなご意見のある中、こういう形で取りまとめていただいたということに対しまして、村長としても、また村の一員としても心から皆さんのご努力に感謝をしたいと思っています。大変短い間でございましたけれども、大変ご苦勞様でした。この委員会は解散するわけですけれども、今後学校づくりにつきましては、なお一層の皆様の方でご協力をいただきたいと思いますと思っています。また、これから暮れに向かい、また次年度なお一層のご活躍とご健勝をご祈念申し上げまして感謝の挨拶といたします。たいへんご苦勞様でした。

事務局井出次長 ありがとうございます。ただいま大村村長のお話にもございましたが、この委員会の任期につきまして、再度皆様にご説明させていただきたいと思っています。第1回目の委員会の際、条例、規則のご説明をさせていただきましたが、任期につきましては学校づくり委員会条例第4条、委員の任期は諮問に係る答申をした日をもって終了するものとする、との規定がございます。ですのでこの委員会の閉会をもって皆様の任期が終了するものとなります。なお学校づくり委員会規則で、皆様の報酬及び費用弁償につきましては、南牧村の条例によりまして、年が明けて来年1月中には皆様の口座へ振り込まさせていただきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。それでは、本日ご用意しておりますものは以上でございます。これで閉会となりますが皆様よろしいでしょうか。

それでは閉会の言葉を、渡邊副委員長お願いいたします。

◎閉会の宣告

渡邊 副委員長 はい。それでは第9回ということで答申が終了したわけですが、本当にご苦勞様でした。以上をもちまして、第9回南牧村学校づくり委員会を閉会します。どうもご苦勞様でした。ありがとうございました。

閉会 午前11時00分